

## 患者の窓口負担軽減、 新たな患者負担増の 撤回を求める請願



### 請願項目

働く人の3分の1が非正規雇用という今日、医療機関の5割で経済的理由による受診の中断・中止が起きています。国民皆保険と言いながら、「お金がないため医療が受けられない」という状態が広がっています。高い窓口負担が、患者さんの受診を妨げる要因です。早期受診、継続的受診が健康には重要と考えます。

戦後最大の震災と原発事故という未曾有の事態のもとで、日本経済全体が落ち込んでいるなか「社会保障と税の一体改革」では、さらなる患者負担増が計画されています。高い患者負担をさらに引き上げる「追加定額負担」をはじめ、70歳から74歳の「1割負担を2割負担へと倍に」するなど医療改悪をさらに進めるものです。消費税の引き上げも進められようとしています。こうした行為は景気をさらに悪化させます。

いつでも、どこでも、だれもが、お金の心配をせず安心して受けられる医療を実現し、内需を高めることは、患者、国民、医療従事者の共通の願いです。

日本の医療費は、国際的には先進28カ国中20位という低さです。国の医療予算を大幅に拡充し、以下の事項の実現を求めます。

### 請願項目

①、患者の窓口負担を大幅に軽減してください。

②、新たな患者負担増計画は撤回してください。

- ・通院のたびに追加定額負担(毎回プラス100円)させる計画を撤回してください。
- ・かぜ薬、解熱剤などを保険適応から外すなどの患者負担増はやめてください。
- ・70～74歳の窓口負担を1割から2割への増額計画をやめてください。

お名前	ご住所



政府がすすめている  
「社会保障と税の一体改革」では  
大幅負担増が計画されています

## 1 今までの窓口負担に追加して 100円とられます

初再診時、全員が追加の定額負担を求められる



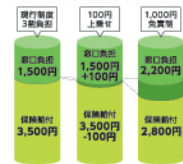
狙いは…

### ①「保険免責制」って?

健康保険から給付される医療(診察、手術、検査、薬など)のうち、一定の金額までは医療保険の適用を免除し、全額患者の自己負担にする制度です。保険給付の範囲が狭められ、受診頻度が高い患者さんほど負担が重くなります。

### 「保険免責制」導入の突破口

5,000円の医療費がかかった時



※追加で支払われたお金は医療機関の収入にはなりません。

## 2 70歳から74歳の窓口負担倍増



## 3 かぜ薬、シップなど市販類似医薬品の 患者負担引き上げ



- ① 外来診療「適正化」で外来患者数の5%減
- ② 情報通信技術の利活用による重複受診の削減 など

## 医療改悪は許しません

このような弱者に負担させる制度には反対です。  
▶ 新たな患者負担増計画の撤回を求めています。



いのちを守る。 [saitama-hokeni.com](http://saitama-hokeni.com)

# 患者負担は 大幅に軽減を



埼玉県保険医協会

〒330-0074 埼玉県さいたま市浦和区北浦和4-2-2 アンリツビル5F  
TEL 048-824-7130 FAX 048-824-7547

裏面の署名にご協力いただける場合は、お手数ですが上記の住所までお送りください